

# 令和4年度県民アンケート調査（確報）結果 要点について

総務部知事公室 統計分析課

## 1 生活全般について(経年変化をみる項目 一部除きH20から実施)

- 現在の暮らし向きに満足している人の割合は60.4%で、昨年度から減少。 【問1】  
「満足している」+「十分とはいえないが一応満足している」  
4.3ポイント減少 (R3:64.7%→R4:60.4%)
- 昨年と比較して暮らし向きが苦しくなった人の割合は39.2%で、昨年度から増加。 【問2】  
「少し苦しくなった」+「とても苦しくなった」 7.9ポイント増加 (R3:31.3%→R4:39.2%)
- 暮らし向きが「苦しくなった」理由のうち、「家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えたから」と答えた人の割合は52.1%で、昨年度から大きく増加。 【問4】  
25.0ポイント増加 (R3:27.1%→R4:52.1%)
- 日常生活で悩みや不安を「感じている人」の割合は77.6%と昨年度から横ばい。  
「感じていない人」の割合は20.1%と昨年度から増加。 【問5】
  - ・「悩みや不安を感じている」…横ばい (R3:77.6%→R4:77.6%)
  - ・「悩みや不安を感じていない」…1.1ポイント増加 (R3:19.1%→R4:20.1%)
- 奈良県が住みやすいと感じている人の割合は65.0%で、昨年度から減少。 【問7】  
「とても住みやすい」+「どちらかといえば住みやすい」 1.7ポイント減少 (R3:66.7%→R4:65.0%)

## 2 生活に関する重要度・満足度(経年変化をみる項目 H20から実施 5段階ポイント評価)

- 平均ポイントは、満足度は0.01ポイント増加(R3:3.01→R4:3.02) 【問12】  
重要度は0.07ポイント減少(R3:4.12→R4:4.05)
- 重要度の1位…「急病時に診てもらえる医療機関があること」  
0.08ポイント減少 (R3:4.66 1位 → R4:4.58 1位)
- 満足度の1位…「文化遺産や史跡が大事にされること」  
0.02ポイント減少 (R3:3.57 1位 → R4:3.55 1位)

## 3 県の取組・県内での改善状況(5段階ポイント評価)

- 県の取組・県内での改善状況に関する16項目について「十分評価できる(5点)」～「ほとんど評価できない(1点)」の5段階で評価(上位3項目) 【問11】
  - 「3 医療体制の強化」(3.74)
  - 「2 がん死亡率の改善」(3.66)
  - 「4 障害者雇用率の増加」(3.61)

## 4 安全・安心の確保【賑わう「都」をつくる】(今年のテーマ項目)

- 自転車条例の内容①について知っている人の割合は60.9%。②について知っている人の割合は14.3%。
  - ①奈良県内では、自転車所有者等は自転車損害賠償責任保険等の加入が義務化されている。
  - ②奈良県内では65歳以上の高齢者は自転車乗車時のヘルメット着用が努力義務化されている。【問13】

## 5 環境・景観の保全【愉しむ「都」をつくる】(今年のテーマ項目)

- 地域で景観を損ねていると感じるものは、「ゴミやタバコのポイ捨て(46.6%)」が第1位。 【問21】
- 「生物多様性」という言葉を「知っている」人の割合は49.9%。 【問22】  
「内容を含め詳しく知っている」+「ある程度知っている」+「言葉だけは知っている」

## 6 くらしやすいまちづくり【愉しむ「都」をつくる】(今年のテーマ項目)

○所有している土地に関する悩みや不安について、最も多かったのは「今は管理できているが、将来的に管理していくことができるか不安である(44.2%)」。【問24】

「その他」、「土地を所有していない」、「悩みや不安はない」を除く

○周囲に影響を及ぼしている土地・建物の管理方法について、最も多かったのは「所有者の同意を得た上で、県または市町村が土地・建物を管理することが必要(41.3%)」。【問26】

## 7 文化活動【智恵の「都」をつくる】(今年のテーマ項目)

○この1年間に文化活動または文化鑑賞を行った人の割合は36.7%で、R3年度から増加。【問33】  
7.7ポイント増加 (R3:29.0%→R4:36.7%)

○「ムジークフェストなら」を知っている人の割合は41.8%で、R3年度から増加。【問34】  
6.0ポイント増加 (R3:35.8%→R4:41.8%)

○「奈良県みんなでのしむ大芸術祭」を知っている人の割合は19.8%。【問35】

## 8 エネルギー関連【豊かな「都」をつくる】(今年のテーマ項目)

○再生可能エネルギーに「関心あり」と答えた人の割合は67.1%で、R1年度より増加。【問27】  
1.8ポイント増加 (R3:65.3%→R4:67.1%)

○省エネ・節電のための日常的な取組状況で最も多かったのは「不要な照明を消す(85.0%)」。【問30】

## 9 運動の状況【健やかな「都」をつくる】(今年のテーマ項目)

○この1年間に運動・スポーツを1日でも行った人の割合は66.2%【問31】  
「週3日以上行っている」～「年に1～3日行っている」の合計

○運動実施者の運動の種類について最も多かったのは「ウォーキング(72.1%)」。【問32】

## 10 子育て【愉しむ「都」をつくる】(今年のテーマ項目)

○子育てに関する6項目のうち最も満足度が高かったのは「3.保育所が充実している(3.02ポイント)で、R2年度より増加。【問36】  
0.05ポイント増加 (R2:2.97ポイント→R4:3.02ポイント)

## 11 安全・安心の確保(今年のテーマ項目)

○消費生活センター等の消費生活相談窓口を「知っている」人の割合は61.4%で、H29年度より減少。【問18】  
「知っている」＝「利用したことがある」＋「知っているが、利用したことはない」  
3.0ポイント減少 (H29:64.4%→R4:61.4%)

○消費生活センター等の消費生活相談窓口の相談方法は「電話による相談(63.5%)」が第1位。【問19】

○インターネット等の利用での経験は、「パソコンの画面に突然「ウイルスに感染した」と警告が出て、表示されている連絡先に連絡するよう促された(21.3%)」が第1位。【問20】

(注) 本資料に表示する数値は、小数第2位または第3位で四捨五入しています。

ただし、ポイント差については、四捨五入前の数値で計算しているため、文中に表示する数値の差と一致しない場合があります。